

# 令和7年度第2回安城市地域ケア推進会議及び安城市認知症初期集中支援チーム検討委員会

日時 令和7年7月17日（木）

午後1時30分～午後3時

場所 社会福祉会館 3階 会議室

## 1 会長あいさつ

6月に入ってから急な猛暑になり、今年は脱水、熱中症の患者さんが非常に多く受診されている。認知症高齢者が道に迷ってしまうことがあるが、この異常気象では認知症も命に関わる疾患として今後は認知されるのではないかと危惧している。

## 2 議題

### (1) 認知症初期集中支援チーム検討委員会（資料1）

・認知症初期集中支援チームとは  
事務局)

（資料1－1）に沿って説明

・認知症初期集中支援チームの活動報告  
認知症初期集中支援チーム)

（資料1－2）に沿って説明

（意見交換・質疑応答）

デイネット部会)

支援事業実施結果を見ると介護サービス事業所がまだまだ介入できていないと感じた。通所事業所からすると認知症に関する相談に対して積極的に取り組むことも課題だと感じているので、相談先の一つとして活用していただきたい。

保健福祉部会)

受診を拒否する、介護サービスにつながらない、介護サービスを利用しても定着しないなどの困難なケースを認知症初期集中支援チームに介入していただくことで医療や介護につながることもあり助かっている。先ほどの事例は重層的支援体制整備事業での相談であったのか。

事務局)

今回の事例では、精神疾患をお持ちの息子さんは医療につながっていた。つなぎ先がわからない場合には重層的支援体制整備事業で社会福祉課が中心となって必要な支援につなげる流れになる。

ケアマネット部会)

認知症初期集中支援チームの介入後も介護認定がない方がいるが、結果的に認定がつかなかったのか、認定申請を拒否されたのか状況を教えていただきたい。

認知症初期集中支援チーム)

医療にはつながって、その後の様子を見て必要があれば介護認定が申請できるように説明をする場合がある。中には認知症の診断がつかなかった方もいらっしゃる。

デイネット部会)

デイサービスでよく使うコミュニケーションのテクニックとして、一度介入した際に一緒に写真を撮らせていただき、次に介入した際にその写真を見せると記憶が抜けてしまっても一歩踏み込んだ状態から話ができる。

衣浦東部保健所)

地域の中には様々な社会資源があるので他の機関がどんなことをやっているか把握し、いろいろな機関を活用して支援につなげられるといい。事例では認知症初期集中支援チームが根気よく関わっていたことで支援が円滑に進み、その後も継続して関わられていると思う。支援の当事者になるとできていることがわからなくなることもあるので、このような会議で他の方の意見を聞き自信につなげて継続していけるといい。

・認知症ガイドブックについて

事務局)

4ページの認知症に関する医療機関について、令和7年5月現在の最新情報に更新したものを差し込んでいる。

(2) 情報共有・意見交換

・看取り体制支援プランについて (資料2)

(ACPマニュアル、わたしノート)

事務局)

安城市では令和元年よりこの会議の中で看取りについて協議を重ね、看取り体制支援プランが作成された。安城市の看取り体制として本人が望む場所で自分らしく最期まで今を生きるというめざす姿を掲げこれまで取り組んできた。

5月21日には令和7年度第1回 ACP 作業部会を開催し、多職種で ACP への取り組みに関する検討を行った。病院では、院内で ACP の勉強会を行ったり、わたしノートの活用が進んできている。安城更生病院では電子カルテに ACP についてのテンプレートを導入し、退院時にその情報が地域に渡せるように取り組んでいる。施設でも入居時にわたしノートの説明をしているところもあり、なるべく看取り期に入る前に家族も含めて話し合う機会を設け、救急搬送の数が減少したという報告もあった。

看取りに関するスキルアップ、専門性の向上への取り組みについては、7月12日に専門職

向けにエンドオブライフケア研修会を実施し102名の方にご参加いただきました。アンケートでは専門職のための ACP マニュアルは8割以上の方が知っている、読んだことがある、理解していると回答し、わたしノートは半数以上の方が使用したことがあるという回答で昨年度に比べ明らかに認知度、活用度が上がっているということがわかった。今年度中にわたしノートの改訂を予定しているので各部会からもご意見をいただきたい。

#### 保健福祉部会)

地域包括支援センターの職員と社会福祉協議会の生活支援コーディネーターが講師となり市民向けにわたしノートの啓発をまちかど講座で行っているが、令和6年度は14回実施した。老人会やサロン等からの依頼が多い。重たいテーマではあるのでもしバナゲームを行い、何を大切にしているか自分の価値観を共有する時間をつくっており、自分の価値観を振り返る機会になったという声を聞いている。

- ・高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施について（国保年金課）（資料3）  
（あんじょうコミュニティBOOK）

#### 国保年金課)

（資料3）に沿って説明

#### 歯科医師会部会)

オーラルフレイルの専門的な介入をするには資格や機材をそろえるといったハードルが高く、なかなか普及に至れていない。

#### デイネット部会)

サロン等に声をかけても参加できない方たちにどうアプローチするかが課題だと考える。

- ・安城更生病院より情報共有  
11月に電子カルテの大幅な更新を予定しており、10月31日の夜から11月3日の昼まで救急の受け入れが停止する

#### 連絡事項

- ・わたしノートの改訂について（資料4）（提出期限：8月29日まで）
- ・災害時の医療・介護・福祉の連携についての研修会（令和7年度安心塾研修会）  
日時：令和7年7月26日（土）午後2時30分～午後4時30分  
場所：安城市民会館 3階 大会議室
- ・自立支援サポート会議  
日時：令和7年7月24日（木）午後2時～ ハイブリッド開催
- ・おれんじフェスタ2025in アンフォーレ  
日時：令和7年9月6日（土）午前10時～午後3時 場所：アンフォーレ1階

- ・地域包括ケアフォーラム

日時：令和7年9月6日（土）午後1時～午後2時30分 場所：アンフォーレ ホール

内容：認知症に関する講演会（みつわクリニック 千石 大介氏） 劇団サルビー見守り隊

- ・多職種研修会（病院部会・薬剤師会部会）

日時：令和7年11月8日（土）午後2時～午後4時 場所：安城更生病院 第1講堂

内容：あなたの家族の突然の急変！平素から家庭内での意思統一は大丈夫ですか？

講師：安城更生病院副院長兼集中治療センター長 田渕 昭彦氏

- ・日本エンドオブライフケア学会第8回学術集会のご案内



↑会議録確認  
できます！

次回 令和7年11月20日（木）午後1時30分～3時 社会福社会館 3階 会議室